



2021年5月10日

各位

会社名: 富士石油株式会社  
 代表者名: 取締役社長 柴生田 敦夫  
 (コード番号: 5017 東証第一部)  
 問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 祖父江 高明  
 TEL: (03)5462-7803  
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

### 2021年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2020年8月11日に公表の2021年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年8月11日発表)	336,700	4,800	6,100	4,900	63.58
今回発表実績(B)	344,612	7,098	8,293	6,528	84.72
増減額(B-A)	7,912	2,298	2,193	1,628	
増減率(%)	2.3	47.9	36.0	33.2	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	462,364	△28,668	△28,777	△29,058	△377.07

#### 2. 差異の理由

前回の予想は、2020年7月から2021年3月の原油価格(ドバイ原油)を40ドル/バレル、為替レートを110円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、49.1ドル/バレル、105.6円/ドルとなりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の減少により販売数量は減少したものの、原油価格が上昇したことにより製品販売価格も上昇し、前回予想を79億円上回りました。また損益についても、原油価格の上昇を受けて在庫影響(総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響)が87億円の原価押し下げ要因(前回予想は17億円の原価押し下げ要因)となったことや、国内製品市況が堅調に推移したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を上回る結果となりました。

以上